

科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日	科目名	クラス	講義区分	科目ナンバリング	曜日
アジア共同体論	<秋>		ECON1620	金4					

**【教員氏名】**

大島 一二  
 ・研究室：聖アンデレ館11階1130号室  
 ・オフィスアワー：水曜日3時限  
 ・メールアドレス：oshima12@andrew.ac.jp

**【単位数】**

2 単位

**【授業形態】**

『講義』『プレゼンテーション』

**【講義・演習概要】**

近年、東アジア・東南アジアを中心にアジア地域と日本との経済的な結びつきが急速に深まっている。また、文化や人の交流も活発化しており、グローバル化の中で、東・東南アジアの経済社会の「一体感」が感じられるようになってきている（例えば、K-POPやAKB48・SNH48・JKT48を見よ）。しかし一方で、ヨーロッパとは違いアジア諸国の間には、経済発展の程度や政治体制、使用言語などに大きな差がある。つまり、アジアは非常に多様な姿を持っている。ここにアジアを考える難しさがある。

本講義では、経済・政治・社会・文化などアジアのさまざまな分野について研究している講師をお招きし、「多様なアジア」「一体化するアジア」の現状や展望についてお話ししていただく。そこから、「アジア共同体」のアジア経済の発展における意義と課題について考えていきたい。

**【学習（到達）目標】**

アジアの経済・政治・社会・文化について学び、「多様なアジア」「一体化するアジア」と「アジア経済の発展」についての理解を深める。

**【講義・演習計画】**

第1回：ガイダンス

本講義は、毎回異なるゲスト講師（学内および学外）によるインテグレーション科目である。

以下には、予定されている講義テーマについて記す。

秋学期開始時までに、各回の講師と講義テーマについて確定したスケジュールを発表する。

なお、講師の都合によりスケジュールは変更されることがある。

第2回：日本の対外直接投資とアジアの経済発展

第3回：中国・アジアへの企業進出と課題

第4回：アジアにおける日本企業の現地化の課題

第5回：アジア地域からの技能研修生の受け入れと課題

第6回：アジアの金融システム安定のための課題と国際協力

第7回：アジアの経済協力の新展開

第8回：アジアにおける安全保障と協力

第9回：アジア共同体と安定的な食料供給システムの構築

第10回：アジアの環境問題と国際協力

第11回：中国・アジアの生環境問題と日本

第12回：日本の大衆文化開放（韓国）と韓流ブーム（日本）

第13回：インドネシアにおける日本と韓国のポップ・カルチャーの人気

第14回：東アジア共同体構想の可能性と課題

第15回：アジア共同体の未来

**【成績評価の方法】**

試験評価：50% レポート：50%

授業に真剣に出席してメモを取り、関連資料を整理しないと書けない、字数4000字程度のレポートを1回課す。

**【事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 事後学習 30 時間）】**

テレビやインターネット・新聞・雑誌などで、アジア諸国のニュースに関心を持ってほしい。

**【その他備考（担当教員用）】**

授業中に私語をするなど、受講態度が悪いと判断される場合は、ただちに退室を命じることがある。悪質な場合、その場で「不合格」を宣告することもあるので、くれぐれも注意されたい。

経済学部アジア・ビジネスキャリアプログラム（ABCP）参加者は、原則としてこの科目の受講を必須とする。

**【キーワード】**

アジア、共同体、経済交流、文化交流

**【備考（管理者用）】**

（経済学特講ーアジア経済の発展とアジア共同体の役割）2～15E・CBC生説替☆インテグレーション科目